

## 子どもたちが楽しいと思える外国語活動

外国語科  
2年A組担任  
中村 正雄

### 1 子どもたちが生き生きと活動できる単元設定

外国語活動を行うにあたって子どもたちが「もっとやってみたい」「楽しい」と思える授業づくりが大切になる。そこで子どもたちに付きたい力(学習内容)を中心に、興味をもって取り組むことが出来るよう、単元づくりを行った。学習内容としては①色(color)②果物や野菜(fruits and vegetables)③動物(animals)を簡単な文とともに学習するようにした。この3つの学習内容を「2A ゆうえんち」と題し、それぞれアクティビティを楽しみながら外国語に触れることが出来る場を設定し学習を始めた。

### 2 子どもたちにとって魅力的なアクティビティ

#### 『お題カードを使っての買い物』

このアクティビティでは主に野菜や果物を外国語で言うことを目標に行った。果物は学習済みであったので野菜について扱う単語は2年生という学年を考慮して8種類に絞った。

買い物活動では、基本のフレーズとして「tomato, please.」といった「野菜(果物)の名前+please」をおさえて、お店役とお客役に分かれて買い物を行った。また、買い物時にお題カードを用意し、引いた野菜や果物を注文することとした。用意したカードには「potato」「potato and cabbage」「potato and cabbage and eggplant」などと1～3種類を注文するようにした。

結果としてお店側とお客さんに分かれることによって自然とやりとりする姿が見られた。中には友だちに分からない単語を聞くなど教え合う姿も見られた。そしてありがとうやどういたしましてなどと外国語で付け足して言う子も出てくるなど、友だちとのやりとりを楽しみ、上手く伝わった時の子どもたちの表情は嬉しそうであった。



### 3 子どもたちでつくる外国語活動

きっかけは学級裁量の朝活動の時間に「先生、もっと言葉(外国語の単語)を増やそうよ」と子どもが発言したことから始まった。また、話を聞いていくうちに買い物の活動についても「あいさつを入れてみたらもっと良くなる」という意見が出たので学級活動の時間に話し合った。始めに「Hello」とどちらもあいさつした方がいいよ。渡す時はFLTが言ってみたいに「Here you are」といいたらいいんじゃないかな。もらったらお礼を言わないとだめだから「Thank you」と言ってみようという意見が出た。驚いたのが、授業では取り扱っていないのだが、買い物が終わった後にさよなら「Bye」や「See you」を入れてみたはどうかという意見が出たことであった。役割演技を通したことによって、より子どもたちが日常の会話に近い形式で外国語を楽しもうと探究する姿が見られた。

成果として子どもと学習すること(教材)との距離を縮めることにより、より楽しみながら多くの外国語に触れることが出来ると分かった。そのためには他の教科・領域と関連させることが有効である。そうすることによって外国語に触れる時間が増え、自分たちがもっと楽しく活動できるように工夫することが出来るからである。これからも子どもたちにとって魅力的な外国語の授業・単元を考えていきたい。

